

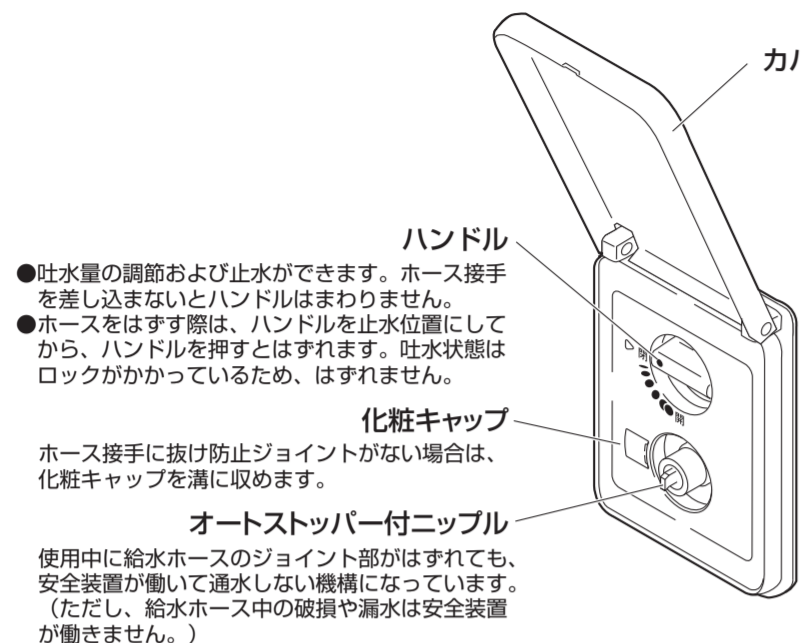
水道用コンセント シンプルット

V96DS・V96DS-1・V96DS-3

(寒冷地用・V96DKS・V96DKS-1・V96DKS-3)

施工説明書 施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

本製品について 各部の名称

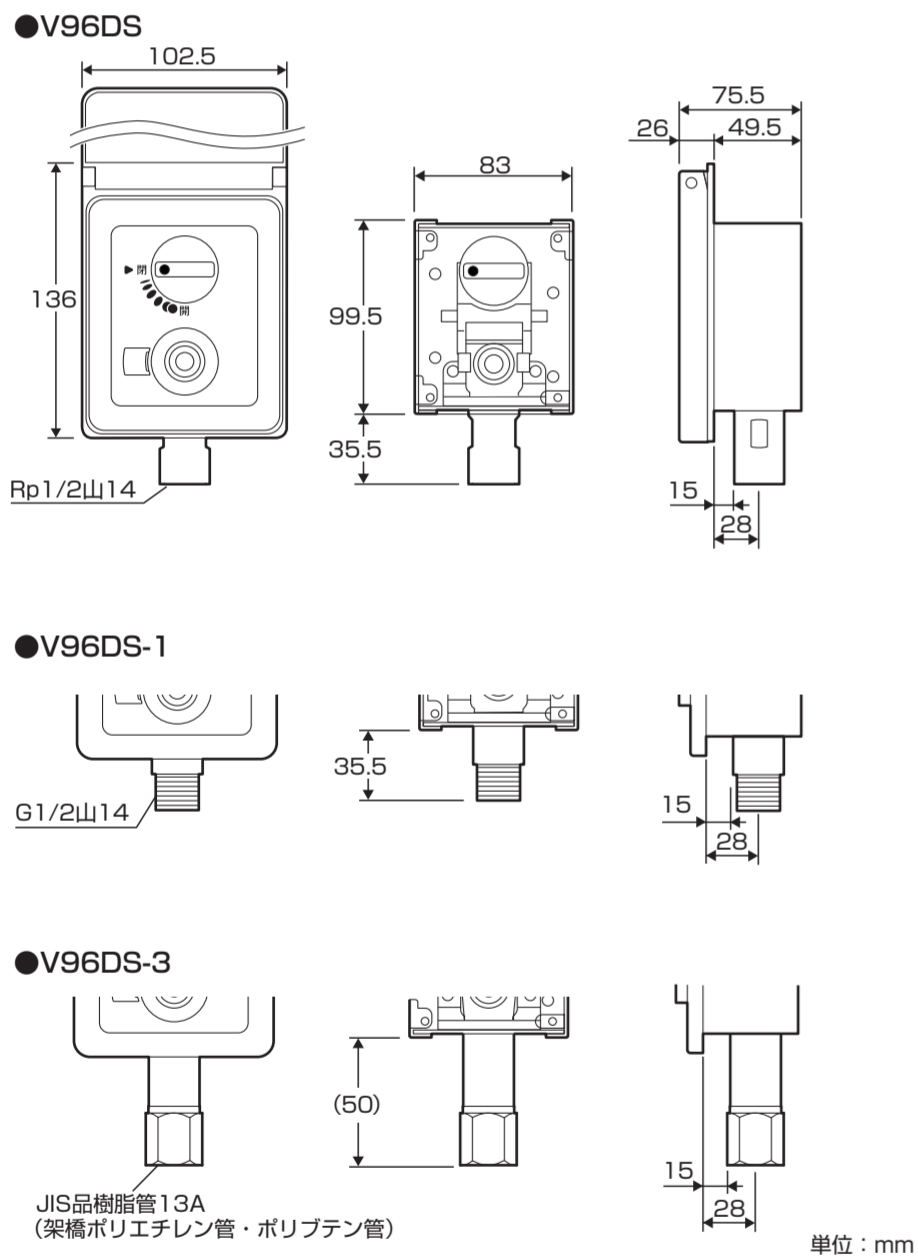


●吐水量の調節および止水ができます。ホース接手を差し込まないとハンドルはまわりません。  
●ホースをはずす際は、ハンドルを止水位置にしてから、ハンドルを押すとはずれます。吐水状態はロックがかかっているため、はずれません。

ホース接手に抜け防止ジョイントがない場合は、化粧キャップを溝に収めます。

使用中に給水ホースのジョイント部がはずれても、安全装置が働いて過水しない機構になっています。(ただし、給水ホース中の破損や漏水は安全装置が働きません。)

寸法図



単位：mm

施工について 施工上のご注意

注意

- 固定枠が水平に取付いていないとハンドルの作動不良の原因となります。参照：「施工手順」1～4」
- 下枠を取付けるさら小ねじを締付けすぎるとハンドルの作動不良の原因となります。
- ハンドルが作動不良の場合は次の調整を行ってください。



【ハンドルが作動不良時の調整方法】

- ① 化粧プレートが確実にはめ込まれているか確認する。
- ② それでも直らない場合、下枠を固定するなべ小ねじを調整する。

参照：「施工手順5～6」

上記の作業を施しても作動不良が直らない場合、固定枠の固定に問題がある可能性があります。固定枠の固定は施工説明書をよく読んで行ってください。

- 配管内の掃除 …… 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。
- 新築時に取付け用の水道用コンセントです。取付けには木枠組が必要な場合があります。
- 取付け時に柱と平行になるよう注意して取付けてください。

施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ …… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

⊘ …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

⊘ …… 「分解してはいけません！」

⊘ …… 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

❗ …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意

⊘ 壁と製品の間は必ずコーキングしてください。雨水などが壁の内側に浸入する財産損害発生のおそれがあります。

⊘ 電気のコソントの近くに取付けしないでください。水道用コンセントからの水による、漏水のおそれがあります。

⊘ 浴室には設置しないでください。故障や漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⊘ 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。

⊘ 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。

⊘ JIS品以外の樹脂管は取付けしないでください。漏水の原因となります。取付可能な樹脂管は次のJISに当てはまる、呼び径13Aのもので、なお、設置条件（給水温度・圧力など）については、各JISに準拠してください。  
・JIS K 6769-1999 架橋ポリエチレン管M種（E種電気融着式は不可）  
・JIS K 6787-1997 水道用架橋ポリエチレン管M種（E種電気融着式は不可）  
・JIS K 6778-1999 ポリブテン管  
・JIS K 6792-1997 水道用ポリブテン管

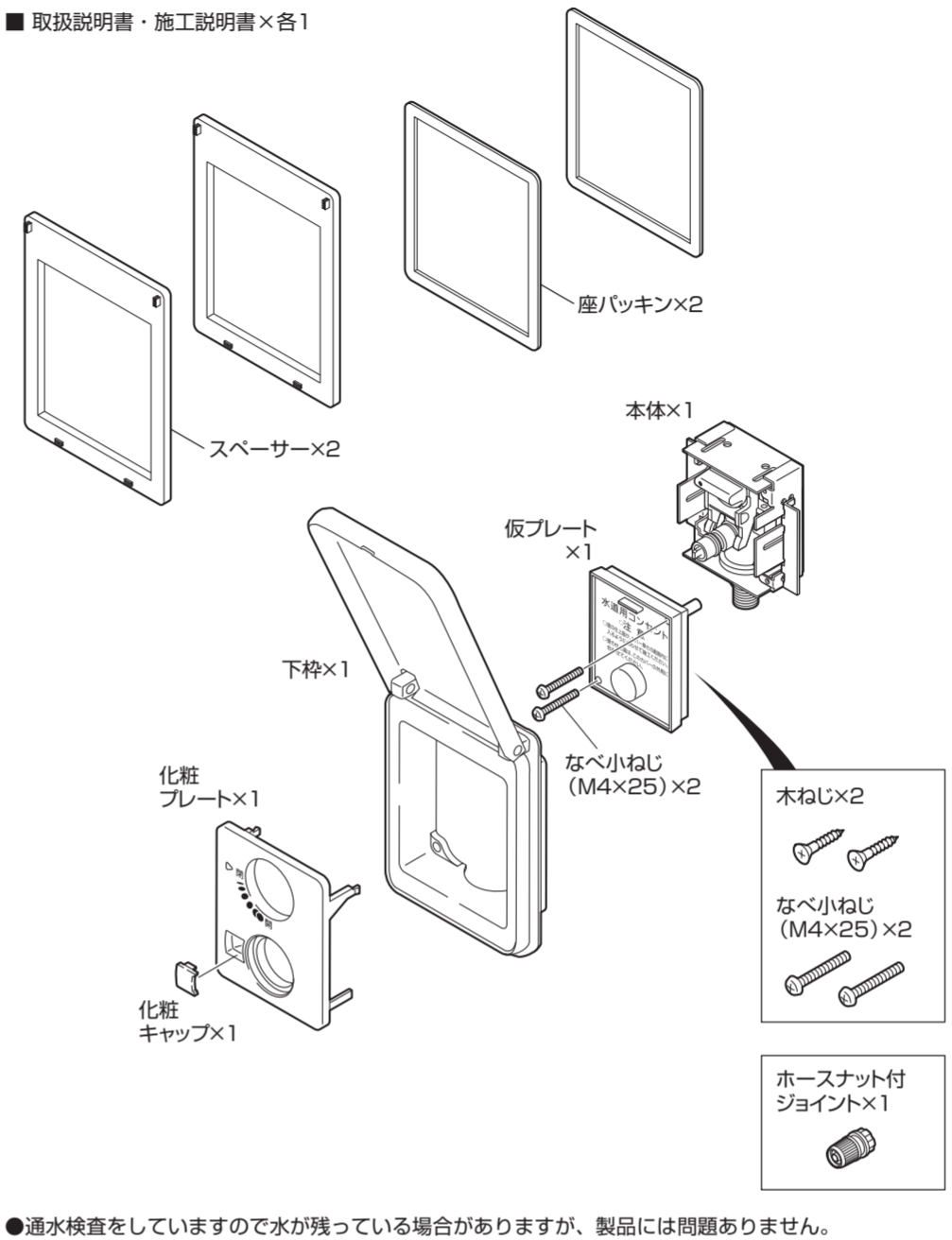
⊘ 凍結が予想される地域には使用しないでください。凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⊘ (寒冷地用の場合) 凍結が予想される場所で使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：取扱説明書「寒冷地用の水抜方法」

❗ 安全を確保するための逆止弁は定期的な交換が必要であることをお客様にお伝えください。万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。参照：「定期的な部品交換」

施工について 梱包明細

■ 取扱説明書・施工説明書×各1



●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧	最高水圧
	0.05MPa (流動圧)	0.75MPa (静水圧)

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

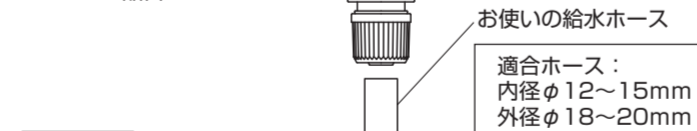
〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

ご使用について ホース接手の適合について

- ① 散水用としてご使用の場合 付属品PT17-4Fをご使用ください。直接ホースを吐水口に接続しての使用はお控えください。

ホースナット付ジョイント SAN-EI品番：PT17-4F



注意

自動洗濯機給水ホース以外でご使用の場合、常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。ホースが抜けた場合に家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ② 自動洗濯機でご使用の場合 日本電機工業規格 (JEM 1206) に適合するホース接手をご使用ください。弊社製品では、下記の品番が該当します。

自動洗濯機給水ホース  
SAN-EI品番：PT17-1-0.5 (長さ0.5M)  
PT17-1-1 (長さ1M)  
PT17-1-1.5 (長さ1.5M)  
PT17-1-2 (長さ2M)  
PT17-1-3 (長さ3M)  
PT17-1-5 (長さ5M)

- ③ ①②以外での用途でご使用の場合 弊社製品T17-6F、T17-8Fをご使用ください。

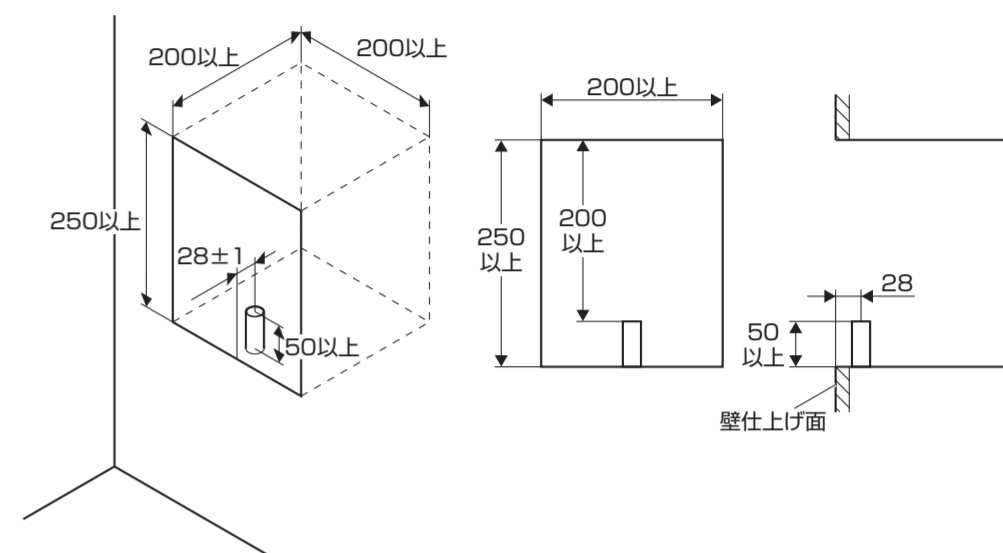
ねじ付ジョイント SAN-EI品番：T17-6F  
シンプルット用吐水口 SAN-EI品番：T17-8F

施工について 施工手順

- 水道工事と壁面取付工事は相互の工程を十分打合わせてから行ってください。
- 施工・作動点検のため、ホース接手を留意してください。

モルタル壁の施工例

- 1 以下のような寸法で配管を立ち上げ、スリーブをつくる。

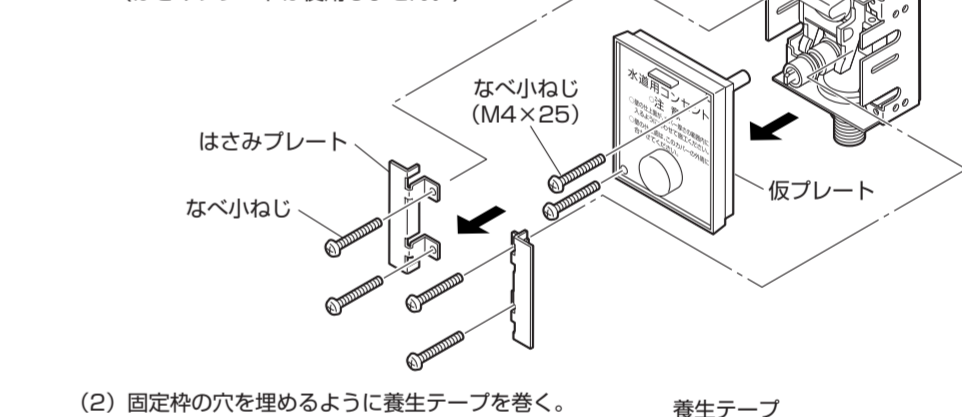


注意

配管の立ち上げ位置は壁仕上げ面から28mmです。(例:タイルの厚みが10mmの場合は18mmの位置に取付けてください。)

2 固定枠の養生

- (1) 固定枠の仮プレート・はさみプレートをはずす。(はさみプレートは使用しません。)

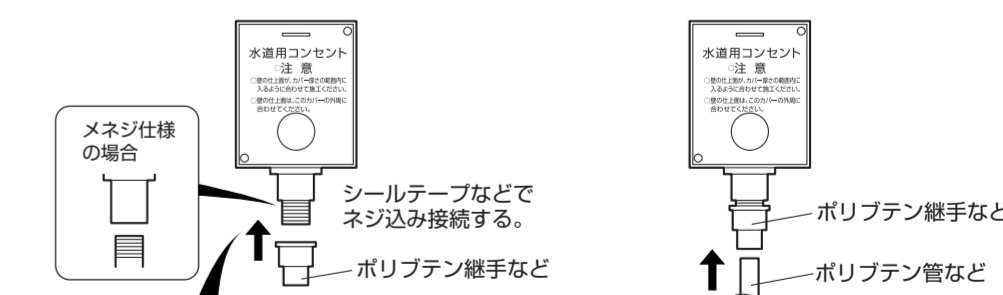


- (2) 固定枠の穴を埋めるように養生テープを巻く。

3 配管の取付け

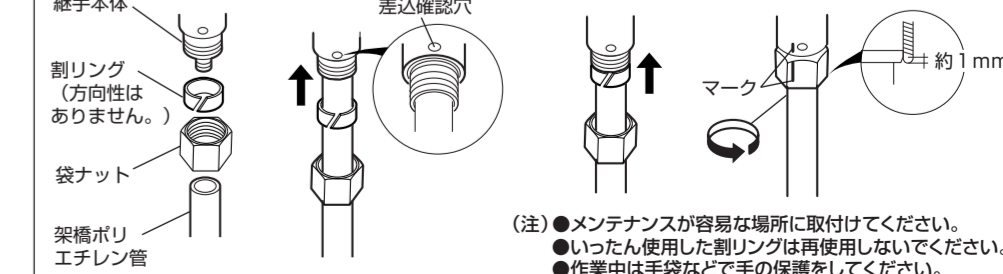
配管を取付足に固定する。配管は保守点検が容易な場所に取付けてください。

- (1) 水道用コンセントと、継手の接続
- (2) ポリブテン継手と、ポリブテン管の接続



架橋ポリエチレン管仕様の場合 継手本体を架橋ポリエチレン管に固定してください。

- ① 部品を順番に管に通す。
- ② 管が継手本体の差込確認穴から見えるまで確実に奥まで差し込む。
- ③ 割リングを継手本体につき当たるまで押しつける。
- ④ 袋ナットを割リング先端が約1mm見えるまで締付ける。締付け後、袋ナットのゆるみ確認のため、マークをしておく。



(注) ●メンテナンスが容易な場所に取付けてください。  
●いったん使用した割リングは再使用しないでください。  
●作業中は手袋などで手の保護をしてください。  
●腐や折れ曲がった管は使用しないでください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

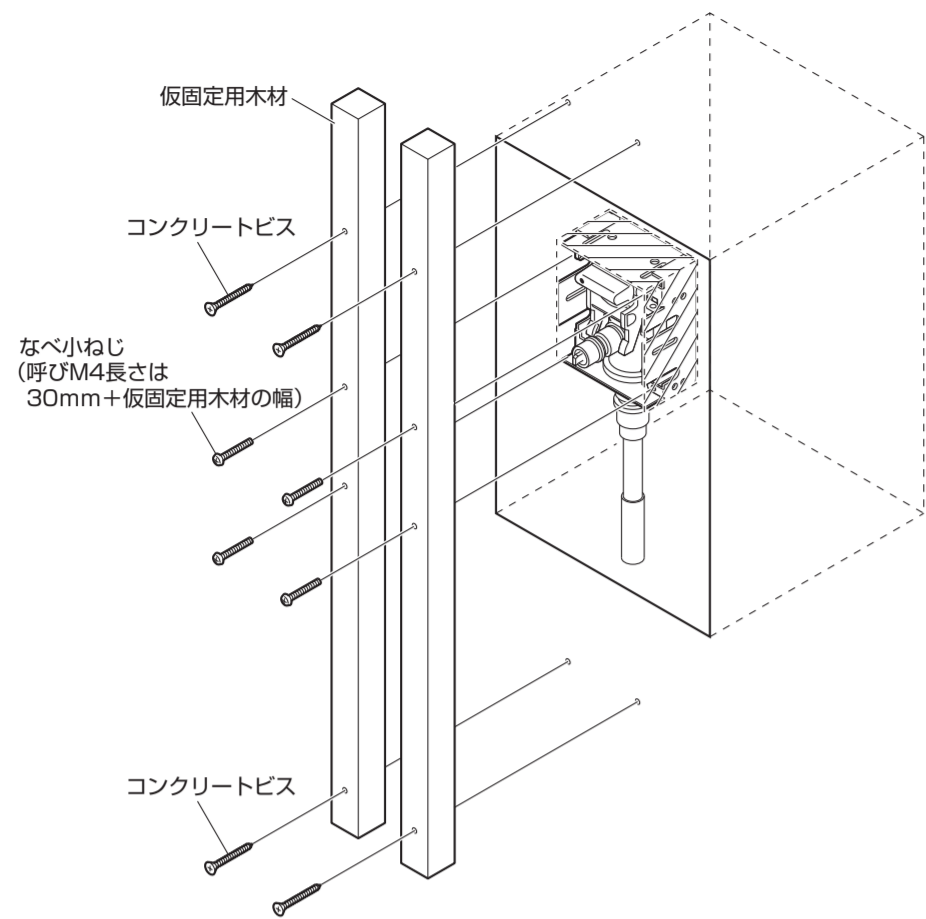
●施工後、工事店様は本書をお客様へお渡しく下さい。

また、定期的な交換が必要な部品があることをお客様にお伝えください。

(株) 三栄水栓製作所 本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号  
お問合せ先 ☎ 大阪 (06) 6976-8661 ☎ 東京 (03) 3683-7496

#### 4 固定枠の固定

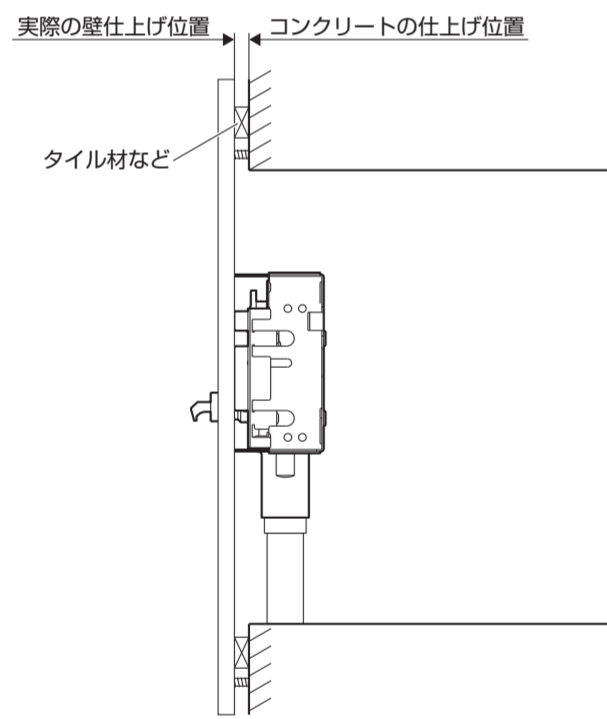
(1) 2本の仮固定用木材をコンクリートビス・なべ小ねじで固定する。



#### 注意

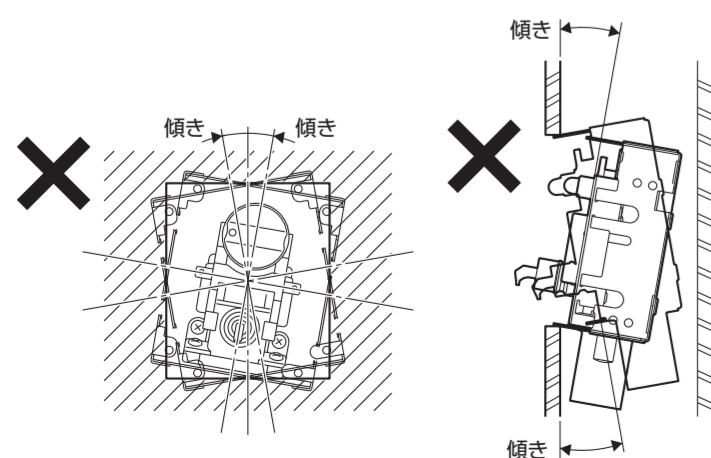
固定枠の固定位置は実際の仕上げ面です。タイル仕上げなどの場合は、タイル材などを用いて、位置を合わせてください。

配管位置が奥にありすぎる場合は、偏心ザルポなどを使用し固定枠を手前に出してください。

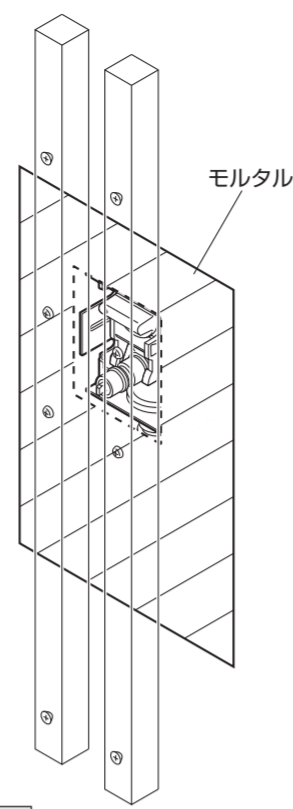


#### 注意

固定枠は壁の仕上げ面に対して平行に、地面に対して垂直に施工してください。固定枠が壁の仕上げ面に対して平行でない場合、器具が正常に作動しない事があります。

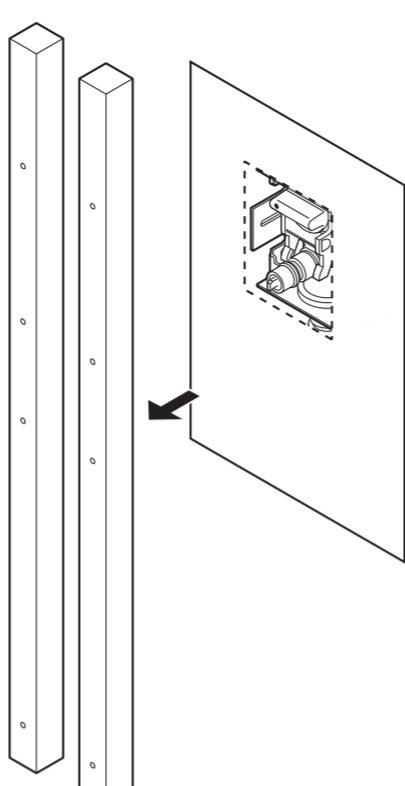


(2) すき間をモルタルで埋める。



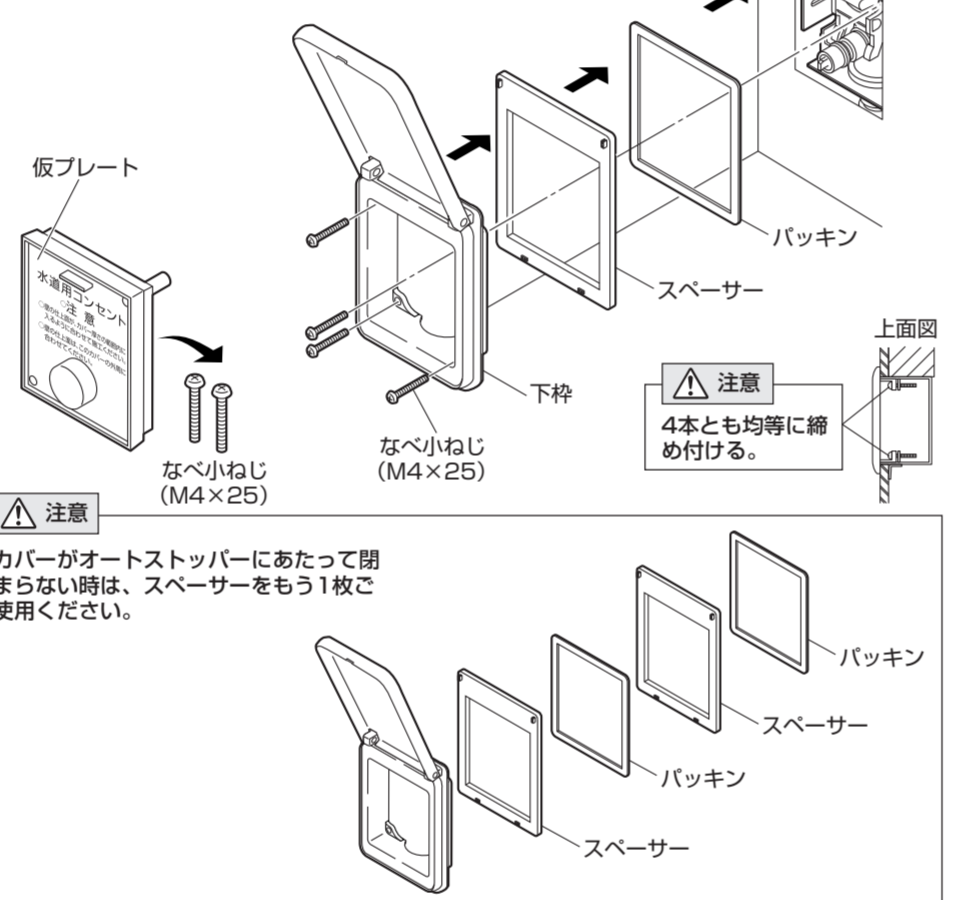
注意  
モルタルの種類により、収縮率が異なります。固定枠が変型しない様、ご注意ください。

(3) モルタルが固まった事を確認し、仮固定用木材をはすす。



#### 5 下枠の取付け

なべ小ねじ4本を下枠に取付ける。



(注) 下枠は固定枠と水平に取付けてください。水平に取付けないと化粧プレートが入らない、ホースが接続できないなど、不具合の原因となります。

#### 6 化粧プレートの取付け

(1) 化粧プレート裏面のシールをはがし、スライドリングをはめる。

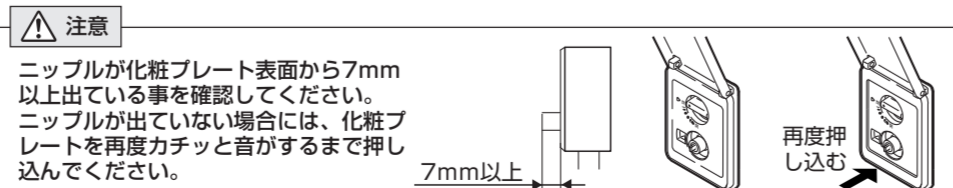
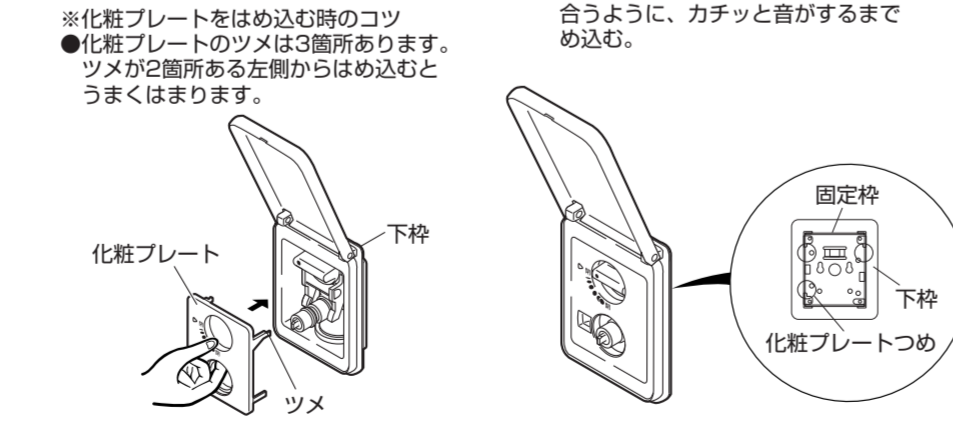
※はがしたシールで化粧プレート表面からスライドリングを固定すると化粧プレートが固定枠にはまらずになります。



(2) 化粧プレートを固定枠にはめ込む。

※化粧プレートをはめ込む時のコツ  
●化粧プレートのツメは3箇所あります。ツメが2箇所ある左側からはめ込むとうまくはまります。

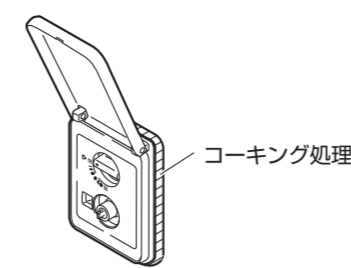
(3) 化粧プレートのツメと固定枠の溝が合うように、カチッと音がするまでめ込む。



(注) 化粧プレートがどうしてもはまらない場合は施工上の不具合が考えられます。「施工手順・8 施工・作動点検/処置」を参照して再度、取付手順を確認してください。

#### 7 コーキング処理

壁と製品の間をコーキングする。



#### 8 施工・作動点検

(1) 取付完了後ホース接手を差し込み、元栓を開け通水し、作動および各接合部の水漏れ点検をする。点検で不具合が発生した場合は次の表に従って処置する。

- ① ハンドルの作動確認
- ホース接手を差し込むとハンドルが手前にスライドする事。
  - ホース接手を差し込むとハンドルが回転する事。
- ② ホースの着脱確認
- ホースが確実に着脱できる事。
  - ホース接手を引張っても抜けない事。

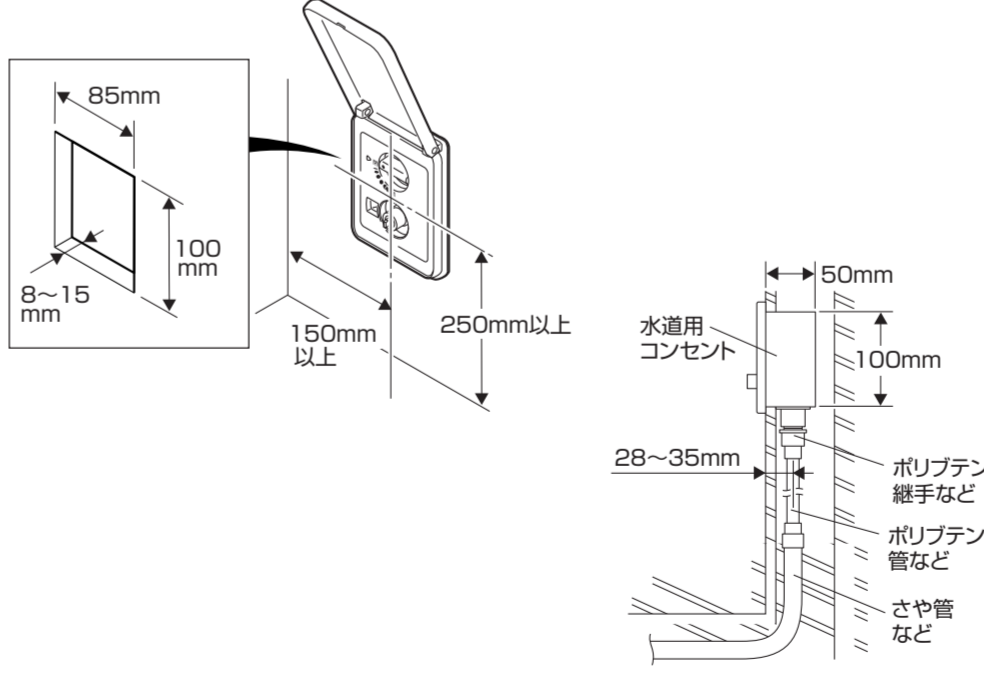
注意  
ホースをはすす際は、ホース内の水が出ますので注意してください。

(2) 施工・作動点検終了後、必ずカバーを閉めてください。

点検不具合	処置	原因	処置	
① ハンドルの作動確認	a	ホース接手を差し込んでハンドルが手前にスライドしない。 ホース接手を差し込んでハンドルが回転しない。	a	スライドリングをはめていない。 下枠と固定枠を止めるなべ小ねじ部分に隙間がある状態の時に化粧プレートを奥まではめ込んでいない。
	b	ホース接手がはまらない。	b	下枠と固定枠を止めるなべ小ねじ4本を均等に締め付けていないため、下枠、化粧プレートが歪んで取付けられている。
	c	ホース接手が抜ける。	c	配管を壁面に対して平行に施工していないため、固定枠が歪んで取付けられている。
② ホースの着脱確認	d	ホース接手がはまらない。	d	配管を壁面に対して平行に施工していないため、固定枠が歪んで取付けられている。
	e	ホース接手が抜ける。	e	通水状態である。本体内部に圧力がかかっている。
	f	ホース接手がはまらない。	f	ホース接手が適合しない。
③ カバー確認	g	カバーが開まらない。	g	カバーがオートストッパーにあたる。
	h	カバーが開まらない。	h	カバーがオートストッパーにあたる。

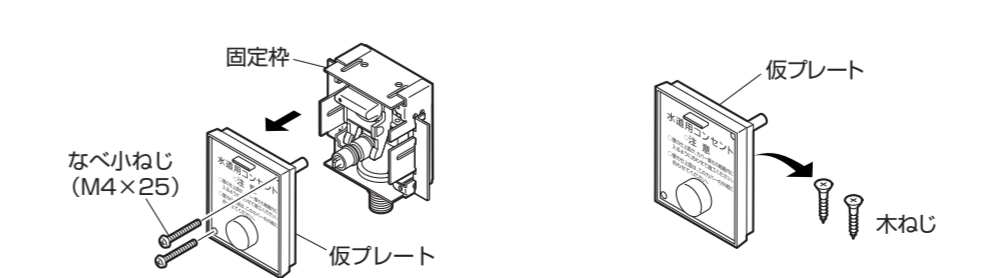
#### はさみ込みの施工例

##### 1 取付位置



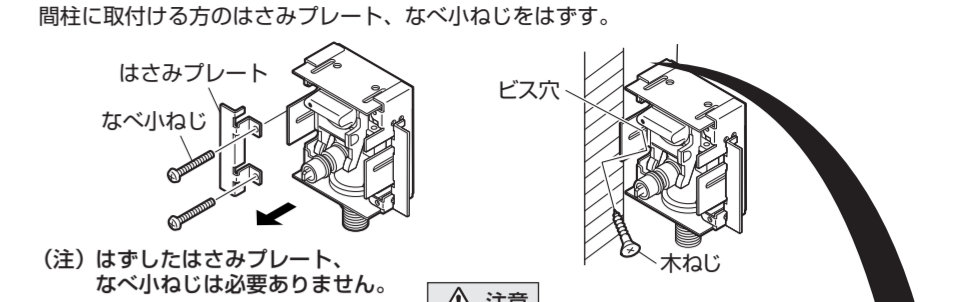
##### 2 間柱と固定枠の固定

(1) 固定枠の仮プレートをはすす。(2) 仮プレート裏側の木ねじ2本を取出す。



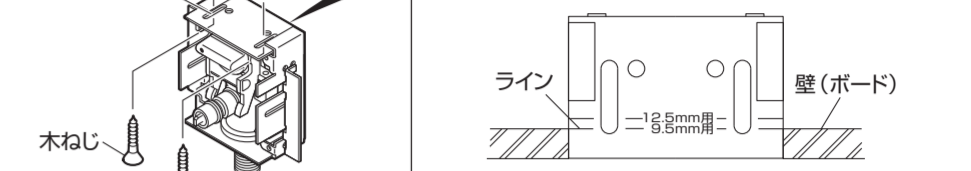
(3) 固定枠の側面上部のビス穴に木ねじを通し、間柱に固定枠を固定する。(注) 側面、上面を組み合わせたより強固に固定できます。

●側面固定の場合  
間柱に取付けるのはさみプレート、なべ小ねじをはすす。

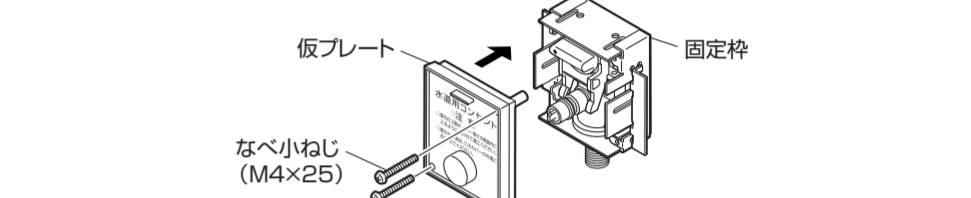


(注) はすしたはさみプレート、なべ小ねじは必要ありません。

●上面固定の場合  
ビス穴  
木ねじ



(4) 仮プレートを再度、固定枠に取付ける。



#### 3 配管の取付け

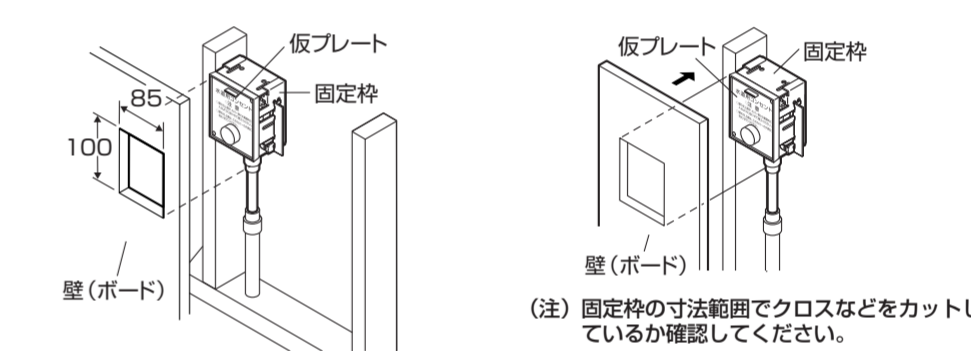
配管を取付足に固定する。配管は保守点検が容易な場所に取付けてください。

#### 4 通水点検

元栓を開いて通水し、各接合部の水漏れ点検をする。

#### 5 壁(ボード)取付け

(1) 固定枠の取付寸法の確認をした後、墨出しを行い、穴を開ける。(2) 固定枠高さ範囲内に壁(ボード)の当たり面がある事を確認した後、壁を取付ける。



#### 6 「モルタル壁の施工例」5~8を参照してください。

#### こんなときは 分解と点検

取付後の故障や、保守点検の時は次の表に従って点検してください。

原因	処置	処置
水が出ない	A ハンドルが開閉していない。	A ハンドルが開閉しているか確かめる。
水が止まらない	B セラミック上部のゴミかみ。 通水していない。	B セラミック上部を開閉しながら、シート部を掃除する。直らない場合は部品を交換する。
流量が少ない	C ハンドルが開閉していない。 セラミック上部のゴミつまり。	C 逆止弁コアのシート部を掃除する。
ニップル部から水が漏れる	D ホース接手のバックイン部のゴミかみがあれば取除き、傷があれば部品を交換する。	D 逆止弁コアのシート部を掃除する。
ホース接手がはすすれない	E ロック状態になっている。	E ハンドルを止水位置にしてから、ハンドルを押す。
ホース接手がはすすれない	F 通水状態である。本体内部に圧力がかかっている。	F ハンドルを開けてからニップルの安全装置を左右に動かして、本体内部の圧力を逃がす。
ホース接手がはすすれない	F ホース接手が適合しない。(SAN-EIのホース接手を別途お求めください。)	F ① 止水 ② 安全装置を左右に動かす。

以上の点検を実施しても、不具合がなくならない場合は施工上の不具合が考えられます。「施工手順・8施工・作動点検」を参照してください。

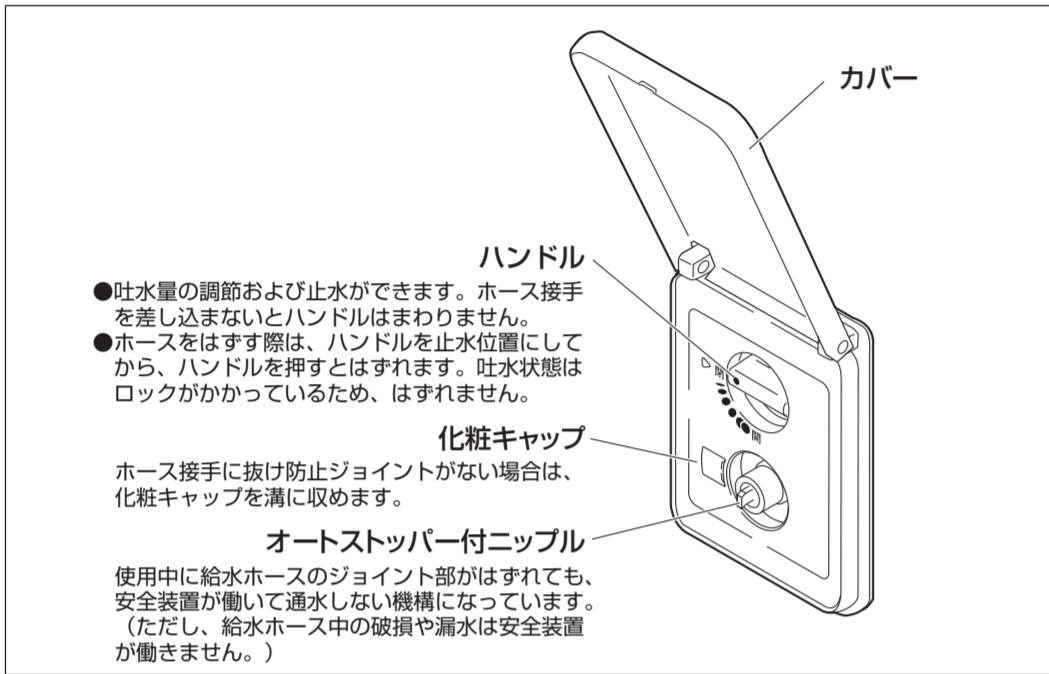
**取扱説明書**

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

- | お客様へ                                   | 工事店様へ   |
|--|---|
| お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。 | 施工後、この説明書をお客様へお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様にお伝えください。 |

**本製品について 各部の名称**

- 壁面に埋め込むことで、突出感がなくスッキリ。水栓本体の機能はそのままです。
- ホースが接続していないと通水しない安全設計。
- ワンタッチ接続で簡単着脱。
- バルブ部にセラミック上部を使用しているので耐久性にすぐれています。



**ご使用について ご使用に関する安全上のご注意**

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

**用語および記号の説明**

- 警告** ..... 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** ..... 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠ ..... 「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
- ⊘ ..... 「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)
- ⊘ ..... 「分解してはいけません！」
- ⚠ ..... 「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です。)

**警告**

- ⊘ 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。けがをするおそれがあります。

**注意**

- ⚠ ステンレスカバーを使用する場合は十分注意してください。けがをするおそれがあります

- ⊘ 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因になります。

- ⚠ ホース接続部より水漏れがないかご確認ください。水漏れが発生した場合には、再度取付けをやり直してください。水が吹出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ⊘ ニップルに直接ホースを接続して使用しないでください。ホース接続部より漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**注意**

- ⊘ 製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。水などが浸入して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ⊘ 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ⚠ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ⚠ 安全を確保するための逆止弁は定期的な交換をお願いします。万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。参照：「定期的な部品交換」

- ⚠ 長期間使用しない時は、配管中の元栓を閉めてください。水漏れなど予想しない事故の原因になります。

- ⚠ ハンドルは、ゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ⚠ 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。

- ⊘ 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ⚠ 使用しない時は、ハンドルを閉めてください。ホース接手がはずれて漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ⚠ ホース接手をはずす際は、ハンドルを止水位置に合わせてからはずしてください。水が吹出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**注意**

- ⚠ 通水状態や本体内部に圧力がかかっている場合、ホース接手を取付ける事ができません。給水ホースを取付ける事ができない場合は、ハンドルを開けてからニップルの安全装置を左右に動かして、本体内部の圧力を逃がしてください。

- ⚠ ホース接手を本体のニップルに確実に差し込んでください。確実に差し込まないと水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ⚠ ホース接手をはずす際は、給水ホース内の水が出ますので注意してください。特にホース内に圧力がかかっている場合は水が吹出すおそれがあります。洗濯機などに取付けている場合は、一旦、作動(給水スタート)して、ホース内の圧力を逃がしてから、ホースをはずしてください。

- ⚠ 自動洗濯機給水ホース以外でご使用の場合、常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。ホースが抜けた場合に、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。誤ってレバーノズルなどを取付けた場合は、ハンドルを閉め、一旦、レバーノズルを作動(散水スタート)して、ホース内の圧力を逃がしてから、はずしてください。

**ご使用について ホース接手の適合について**

- ① 散水用としてご使用の場合 付属品PT17-4Fをご使用ください。直接ホースを吐水口に接続しての使用はお控えください。ホースナット付ジョイント SAN-EI品番：PT17-4F

- ⚠ 自動洗濯機給水ホース以外でご使用の場合、常にホースに圧力がかかる機器には使用しないでください。ホースが抜けた場合に家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ② 自動洗濯機でご使用の場合 日本電機工業規格(JEM1206)に適合するホース接手をご使用ください。弊社製品では、下記の品番が該当します。自動洗濯機給水ホース SAN-EI品番：PT17-1-0.5(長さ0.5M) PT17-1-1(長さ1M) PT17-1-1.5(長さ1.5M) PT17-1-2(長さ2M) PT17-1-3(長さ3M) PT17-1-5(長さ5M)

- ③ ①②以外での用途でご使用の場合 弊社製品T17-6F、T17-8Fをご使用ください。ねじ付ジョイント SAN-EI品番：T17-6F シンプルット用吐水口 SAN-EI品番：T17-8F

**ご使用について 使用方法**

- ホースの接続**
- ① ホース接手を本体のニップルヘカチッと音がするまで差し込む。

- ② 接続後、ホースを引張って抜けない事を確認する。
- ハンドルをまわして、吐水・止水します。
- (注) ホース接手を差し込まないとハンドルはまわりません。ホース接手を差し込むと、ハンドルが手前にスライドします。

**ホースの離脱**

- ① ハンドルを止水位置に合わせます。
- ② ハンドルを押すと、ホース接手がはずれます。

- ⚠ 注意 ●ホースをはずす際は、ホース内の水が出ますので、注意してください。●ハンドルを押さずに、ホース接手を引き下げながらはずさないでください。誤って通水時にはずすと、次回使用時にホース接手が取付けられない場合があります。参照：「分解と点検」

- ⚠ 注意 使用後は必ずホース接手をはずし、カバーを閉めてください。

**ご使用について 凍結予防**

- 一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。
- 配管部などに保温材を巻いてください。
  - 凍結の予想される日には、カバーを閉めてください。
  - ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

## ご使用について 寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 配管の水抜き操作をする。
- 2 ホース接手をはめる。
- 3 ハンドルを吐水位置に合わせ吐水する。

**注意**  
ホースをはずす際は、ホース内の水が出ますので注意してください。

再使用时  
洗濯機側の給水ホースが確実に閉まっている確認してから、通水してください。

## お手入れ 日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかな布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

## 注意

- 次のものは使用しないでください。変色や腐みのおそれがあります。
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類  
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
  - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
  - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
  - ナイロンたわしなど

## お手入れ 定期的な部品交換

安全・快適にお使いいただくために、定期的な部品交換をおすすめします。

### 逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。  
※逆止弁や部品交換を依頼される方は取扱説明書の「アフターサービス」を参照してください。

## こんなときは 分解と点検

取付後の故障や、保守点検の時は次の表に従って点検してください。

	原因	処置
水が出ない	ハンドルが開閉していない。	<b>A</b> ハンドルが開閉しているか確かめる。
	通水していない。	
水が止まらない	ハンドルが開閉していない。	<b>A</b>
	ハンドルが開閉していない。	<b>B</b> ホース接手のパッキン部のゴミかみがあれば取り除き、傷があれば部品を交換する。
流量が少ない	ハンドルが開閉していない。	<b>A</b>
	ハンドルが開閉していない。	<b>B</b> ホース接手のパッキン部の損傷、ゴミかみ。
ニップル部から水が漏れる	ホース接手のパッキン部の損傷、ゴミかみ。	<b>B</b>
	ハンドルを止水位置にしてから、ハンドルを押す。	<b>C</b>
ホース接手がはずれない	ロック状態になっている。	<b>C</b>
	ハンドルを閉めてからニップルの安全装置を左右に動かして、本体内部の圧力を逃がす。	<b>D</b>
ホース接手がはまらない	通水状態である。本体内部に圧力がかかっている。	<b>D</b>
	ホース接手が適合しない。(SAN-EIのホース接手を別途お求めください。)	<b>D</b>

以上の点検を実施されても、不具合がなくなるらない場合はお手数ですが販売店（工書店）にご相談ください。

## 漏水した場合の処置

漏水した場合は、配管中の元栓を開めてください。

### 元栓の開め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。  
 ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。  
 ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。  
 ※一部の地域では左まわしの場合があります。  
 ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの元栓ボックス：  
 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。  
 古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあつたりします。

●キー式

止水栓キー  
SAN-EI品番：  
PR30（止水栓キー）

●ハンドル式

水道メーター  
（量水器）

■マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：  
 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

水道メーター（量水器）

## こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくにご使用ください。

### V96DS

- 一般用
1. なべ小ねじ
  2. ハンドル部
  3. セラミック上部
  4. 逆止弁コア
  5. なべ小ねじ
  6. 本体
  7. バインド小ねじ
  8. オーリング
  9. 取付台
  10. 固定枠
  11. なべ小ねじ
  12. 下枠
  13. 化粧キャップ
  14. 化粧プレート
  15. スライドリング
  16. 木ねじ
  17. 仮プレート
  18. スペーサー
  19. パッキン

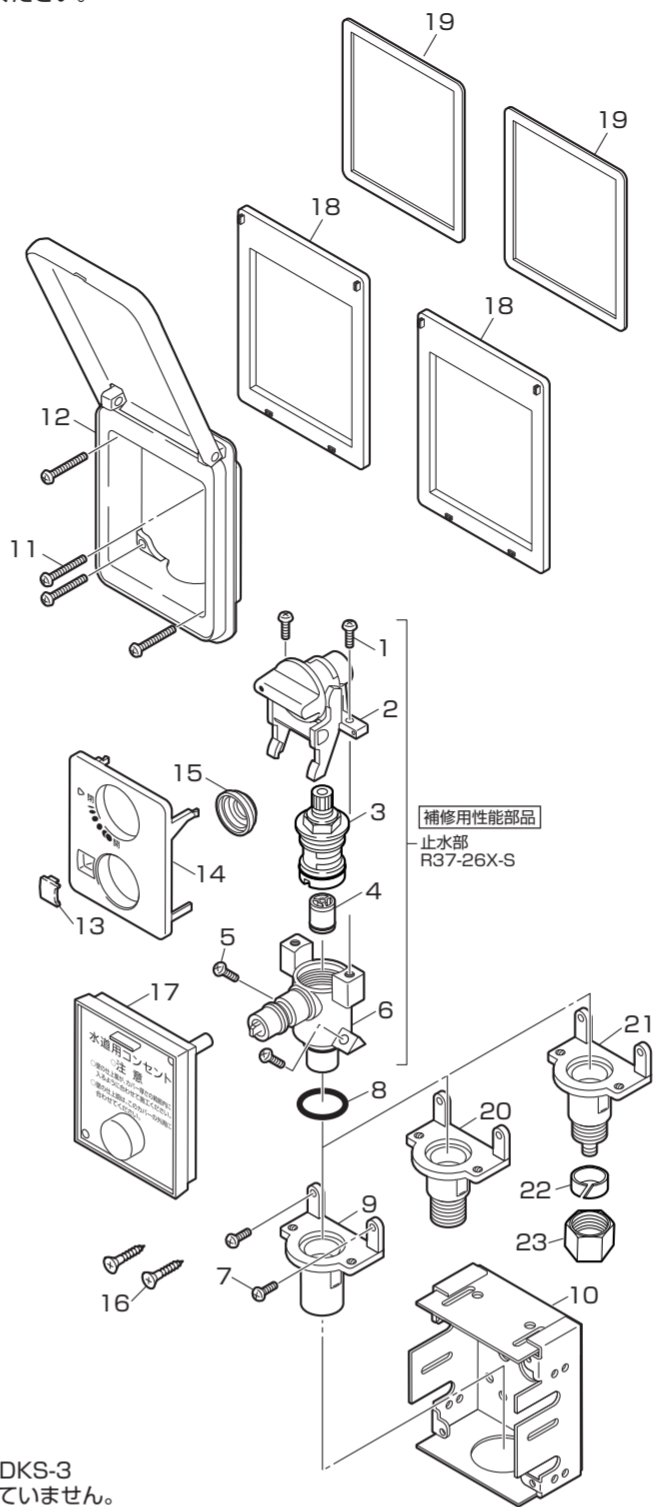
### V96DS-1

20. 取付台

### V96DS-3

21. 取付台
22. 割リング
23. 袋ナット

●V96DKS・V96DKS-1・V96DKS-3はNo.4（逆止弁コア）を使用していません。



## こんなときは オプション品について

SAN-EIでは、水まわりを快適にサポートできるようにオプション品や補修パーツをホームセンターなどでとりそろえております。  
 （品質改良、原材料事情などにより、品番、仕様などの変更、および製造中止を予告なくさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。）

■ベンリー管などねじでつなぎたい。

ねじ付ジョイント  
SAN-EI品番：T17-6F

G1/2

■普通の蛇口のように使いたい。

シンプレット用吐水口  
SAN-EI品番：T17-8F

■ホースを延長したい。

自動洗濯機延長ホース  
SAN-EI品番：  
 PT17-2-0.5（長さ0.5M）  
 PT17-2-1（長さ1M）  
 PT17-2-2（長さ2M）  
 PT17-2-3（長さ3M）  
 PT17-2-4（長さ4M）

## アフターサービス

### 〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの）の供給期間は製造中止後10年です。

### 〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店（工書店）又は当社
- 連絡していただきたい内容：
  - 住所、氏名、電話番号
  - 品番、品名
  - お買上げ（据付け引渡し）年月日
  - 故障内容、異常の状況（水漏れ箇所の説明など）、部品交換の依頼
  - 訪問希望日

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」＋「部品代」＋「出張料」で構成されています。  
 「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。  
 「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。  
 （無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。）  
 「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

### 〔部品の交換〕

- 止水部やパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。
- 安全・快適にお使いいただくために、定期的な逆止弁の点検・交換をお願いします。

### 〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店（工書店）へご相談ください。
- 不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

**SAN-EI** 株式会社 三栄水栓製作所

本社  
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号  
TEL (06)6972-5921 FAX (06)6974-7001

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 東京支店 …… ☎ (03)3683-7471    | 金沢営業所 …… ☎ (076)268-7751 |
| 名古屋支店 …… ☎ (052)800-8688   | 京都営業所 …… ☎ (075)605-5761 |
| 大阪支店 …… ☎ (06)6972-6981    | 神戸営業所 …… ☎ (078)843-9231 |
| 札幌営業所 …… ☎ (011)782-5353   | 広島営業所 …… ☎ (082)922-3631 |
| 盛岡営業所 …… ☎ (019)605-7301   | 四国営業所 …… ☎ (089)982-5071 |
| 仙台営業所 …… ☎ (022)258-6251   | 福岡営業所 …… ☎ (092)674-1230 |
| 新潟営業所 …… ☎ (025)281-1291   | 熊本営業所 …… ☎ (096)385-7161 |
| さいたま営業所 …… ☎ (048)625-4741 | 沖縄営業所 …… ☎ (098)869-0890 |
| 横浜営業所 …… ☎ (045)929-0331   |                          |

ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>